事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部基盤技術支援センター			■担当		基盤技術支	援センター
■評価事業名称	組織化支援事業						
■事業開始年度	平成12年度						
■評価事業コード	060500 - 286 ■会計区分 一般会計						
■総合計画での ■位 置 づ け	■政策 03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり						
	■基本施策 01 産業間連携の促進						
	■施策	01 次世代につながる産業間連携の促進					
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策						
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの						
■法令等の名称							
■関連計画の名称	北上市工業振興計画						
■事 業 の目的と概要	地域中小製造業において、経営や技術の高度化が必要であるとともに他企業等との連携による企業革新が重要であり、基盤技術支援センター設置を機にグループ化された北上ネットワーク・フォーラムの活動を推進し、以って地域産業の振興につなげるもの。北上ネットワーク・フォーラムの事務局として活動。企業間及び産学官連携のためのセミナー、フォーラム等を開催するもの。						

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01 組織化支援 事業	製造業を中心 とする企業	総会·役員会·監査会:6回魔学官民·異業種交流等:1回口場見学会:2回	総会·役員会:11回庿学官民·異業種交流等:5回口場見学会:1回

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	57				
人 件 費	1,527	1,292	1,489	1,502	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,584	1,292	1,489	1,502	

4. 評価指標等の状況

捐口	旨標 指標名 一ド・	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	北上ネットワークフォーラム事業(総会・役員会等)実施回数	22	10	14	17	総会、役員会、監査会。産 学官民異業種交流会回。
						
03	製品・技術、経営等の改善・ 創出へ向けた取り組み件数	2	2	3	2	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■日播港電供泊	達成状况(り分析		問題 点 ■ 課題寺		
一■目標達成状況⑥ A. 順調	北上ネットワーク・フォーラムにおいて会員数も 100会員程度で推移しており、全国の企業との連携も強まっている。			活動範囲が広がり、個の企業同士のつながりは 拡がっている。この流れを維持しつつ、団体とし て新しい事業展開に持っていく必要がある。		
	35 6326					
○ C. 遅れている						
一1. 直接的な受益者の範囲 ―		業廃止の影響 ――――		-3. 国・県・民間との競合関係の有無 —		
○ 不特定多数に及ぶ		大きな不利益やリスクが生じ	る	 ○ 類似の事業はない		
● 特定されるが多数に及ぶ	a	ある程度の不利益やリスクな	が生じる	○ ⑥ 類似の事業はあるが競合はない		
○ 特定少数に限定される	○ 不利益やリスクは小さい			○ 類似の事業があり競合する		
── ─ 4. 事業へのニーズの変化 一			(市民意識調			
◉ ニーズが高まっている		○ 順位が高い		○ 順位が高い		
○ ニーズは変わらない		● 順位が中程度		│ │ │ │ │ │ 順位が中程度		
○ ニーズが低下している又は	○ 順位が低い		● 順位が低い			
	性 ————			 9. 経済性・効率性の向上		
● 先進的またはユニークな事	○ 民間委託等の拡充	は難しい	○ 今以上の効率化や改善は難しい			
○ 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の拡充	が十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能			
○ 遅れている事業である	● 全部委託や実施主体	体の移行が可	能 効率化や改善の余地が大きい			
■事業の見直し方策(評価項目2		-	┌■今後のス			
H29から産業支援センター指定管り、指定管理者と連携を取りなが	宮理業務内で ら事業を進め	│	5充 ○ IV. 廃止·休止			
				\smile		
			○ Ⅲ. 縮	<u> </u>		